現代日本論基礎講読「研究法入門」

第2講　本を読む (1): 速読

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ]　読書記録と速読の方法

1　本を読むモード

教科書 pp. 83–90

- 速読 (今日やること)
- 精読
- 批判
- 利用

2　書誌情報

- 書誌情報をどこから採るか (奥付の利用)
- シリーズ・叢書など
- 版
- 目次・索引・序文など
- 初出・履歴の情報

3　読書メモと情報の整理

- 読みながらの記録 (付箋・書き込みなど)
- 目次への書き込み
- 速読カード (教科書 p. 104) などへの記録と保存

4　速読の場合に読みとるべきこと

- 部や章の構成と、各章の役割
- キーワード
- 問いと答えのセット
- 根拠の基礎となる理論やデータ

5　次回予定

来週は、書店 (東北大学大学生協文系書籍店) で本を探す実習をおこないます。どんな本を読みたいか、考えておくこと。

当日の流れ:

[**10:30**]　通常の教室で授業 (書店での本の探しかたについて)

[**10:40**]　文系書籍店に移動 → 好きな本を各自探す

[**11:40**]　教室に戻り、探した本について情報交換 (書誌情報 (著者・出版年・表題・出版社) のメモを提出)

その次の授業時 (11/20) に、次のものを持ってくること

- 現物入手（買うか図書館で借りる）
- 目次と奥付のコピー (今回と同様)